

農業経営改善計画 認定農業者のご紹介

今年度の農業経営改善計画認定農業者の認定書交付式が、9月16日町長室でおこなわれました。

認定農業者として認定されると、生活基盤改善（農業機械・施設の導入、農地取得等）をおこなう際支援を受けることができ、事業費の10%以内を上乗せ補助（限度額100万円）利子を補助（限度額10万円）、経営管理改善（複式簿記の実践）に対する支援などを受けることができます。今回の認定農業者は次のとおりです。



馬場 伸二さん（町）

現在、人工授精師として町内を中心に活動されています。年内にも畜舎を建設し当初は5〜6頭を導入する予定。夕方1回の給餌方法で授精師

との両立を図り、パソコンによる経営管理をおこなっていく予定です。

三原 清志さん（北方町）



人工授精師の資格を持ち、現在繁殖牛9頭、イチゴ12a、水稻1haを経営されています。今後良質粗飼料の給餌により高品質の繁殖牛の生産および増頭、イチゴの高設栽培への切り替え並びに生産量にとらわれない早期出荷、高品質管理を目指します。

玉利 宏太さん（武）



中津川と永野に梅を栽培されていますが、今後面積拡大を図り、増収所得増を計画中です。環境保全型農業を取り入れ、品質管理の徹底、栽培技術の向上にも力を入れ経営安定を目指します。

中間 公浩さん（北方町）



農業機械士の資格を持ち、水稻の作業受託により経営改善と規模拡大を目標としています。農地の荒廃・放棄を危惧し、大型機械の導入で、作業の効率化と省力化を目指し、パソコンによる経営分析を徹底されます。

今別府保雄さん（広橋）



繁殖肉用牛と水稻による農業経営に取り組まれています。

今後、高齢者からの委託作業の増大により借地の拡大と所得向上による経営安定を計画中です。

また直接支払事業の代表者としても、役員や若い農家との話し合いを実施し、集落営農の中心として期待されています。

熊田さん所有牛県共 川薩畜産共進会

9月10日、第45回川薩畜産共進会が宮之城町の薩摩中央家畜市場で開催されました。

大会には、川内市と薩摩郡内から109頭（本町からは町秋季品評会で選ばれた16頭）が出品され、それぞれの牛の栄養状態や発育具合を入念に審査しました。

その結果、若雌1区で、熊田照男さん所有の牛が最優秀賞2席を獲得し県畜産共進会出場を決めました。

なお、大会結果は次のとおりです。（敬称略）

●若雌一区●

（平成14年5〜9月生まれ）
最優秀賞

2席 熊田 照男（熊田）
8席 白石 節子（弓之尾）
12席 山口 治幸（広橋）
14席 川野 豊治（北方町）

優秀賞

平木場岩男（上中福良）
有村 淳美（弓之尾）
馬場 達男（町）
白石 節子（弓之尾）

●若雌二区●

（平成13年10月〜平成14年4月生まれ）
最優秀賞

4席 山下 健大（尾原）
10席 下築 晶利（築平）

●父系群の部●

優秀賞

向園 常雄（黒鳥）

●成雌牛区●

優秀賞

馬場 達男（町）
向園 義人（黒鳥）
上 芳明（熊田）



県共出場を決めた熊田照男さんの所有牛「しげみ号」